

PortaSound

PSS-390

取扱説明書

YAMAHA

ポータサウンド PSS-390 をお買い上げいただき ありがとうございます。

このガイドブックは、PSS-390の操作方法を機能別に説明したものです。お読みになった後も、保証書と共に大切に保管して、わからないことがあるときに、ご活用ください。

もくじ

	ページ
電源のセット方法	1
ポータサウンド早わかり	1
ボイス	4
スタイル～オートアカンパニメント	6
デジタルシンセサイザー	10
ソングメモリー	12
レッツプレイ	14
故障と誤りやすい現象	16
仕様	17
保証書	裏表紙

取扱上の注意



こんな場所に置かないでください。

- 暖房器具のそばや日中の車内、直射日光が当たる場所など、極端に温度が高い場所には置かないでください。また、湿度が高い場所やホコリの多い場所も避けてください。



ラジオやテレビから離してお使いください。

- ラジオやテレビなどのすぐ近くでご使用になると、ラジオやテレビ側で雑音を発することがあります。十分に離してお使いください。



衝撃を与えないでください。

- 本体を落としたり、重いものを乗せたりしないでください。
- ボタンやスイッチ類に、無理な力を加えないでください。



使用後は

- 必ずパワースイッチを切ってください。
- 長時間使わないときは、電池を抜いておいてください。



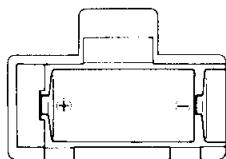
お手入れは

- 柔らかい布で、から拭きをしてください。
- 汚れがひどいときには、少し水で湿らせた布で拭いてください。
- アルコールやシンナー類は、本体の外装を痛めますので、絶対に使わないでください。
- 塩ビ系のものを長時間置いておくと、張り付いてしまうことがありますのでご注意ください。

電源のセット方法

1, 電池を使う場合

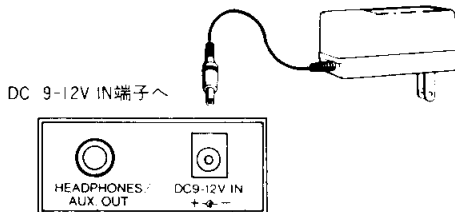
本体を裏返して、電池ケースのフタをあけます。付属の単2乾電池6本を一列に入れます。このとき、+-の方向を間違えないようにしましょう。



※電池に寿命がきて電圧が落ちると、大きな音を出したとき音が歪んだり、音が止まったりします。そのような時は6本共新しい電池と交換してください。

2, コンセントを使う場合

別売の電源アダプター(PA-3)が必要です。PSS-390本体の背面にあるDC 9-12V IN端子に電源アダプターのプラグを差し込んでください。

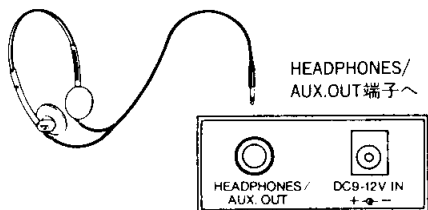


※必ず指定の電源アダプターをご利用ください。

付属端子

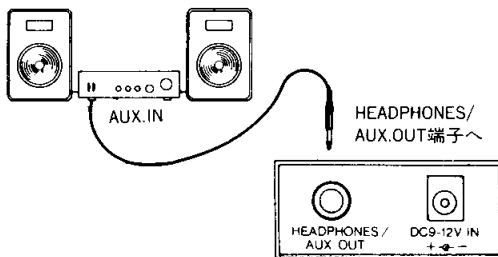
●ヘッドホンを使う時は

ヘッドホンは<HEADPHONES/AUX.OUT>端子に接続してください。ヘッドホンジャックを差し込むと、内蔵スピーカーからは音が流れませんので、夜間の練習などに最適です。



●キーボードアンブやステレオへのつなぎ方

オーディオ接続コードで<HEADPHONES/AUX.OUT>から、つなぐ側の<LINE IN><AUX.IN>等に接続してください。



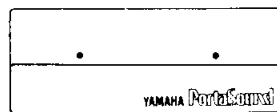
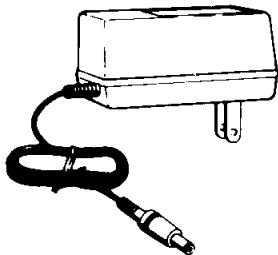
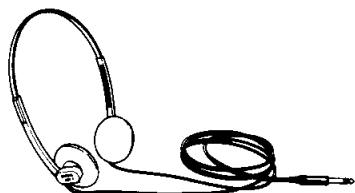
オプション(別売)のご紹介

●ヘッドホン

HPE-5 ¥5,500
HPE-3 ¥3,000

●電源アダプター PA-3 ¥2,000

●専用ソフトケース SCC-23 ¥2,800



●表示の価格には消費税は含まれていません。

ポータサウンド早わかり

ポータサウンドのアウトラインをご紹介します。
詳しい操作については、() のページをご覧ください。

パワー／モードレバー

《ノーマル》

自動伴奏なし、またはリズムだけの伴奏で演奏ができます。

《シングルフィンガー》

コード伴奏が苦手という人も、指一本で自動伴奏を加えることができます。

《フィンガード》

左手でコードを押さえると、そのコードに従って自動伴奏が出てきます。

《オートベース》

ベース音の自動伴奏。左手の演奏はそのまま発音しますので、自分でコード伴奏が加えられます。

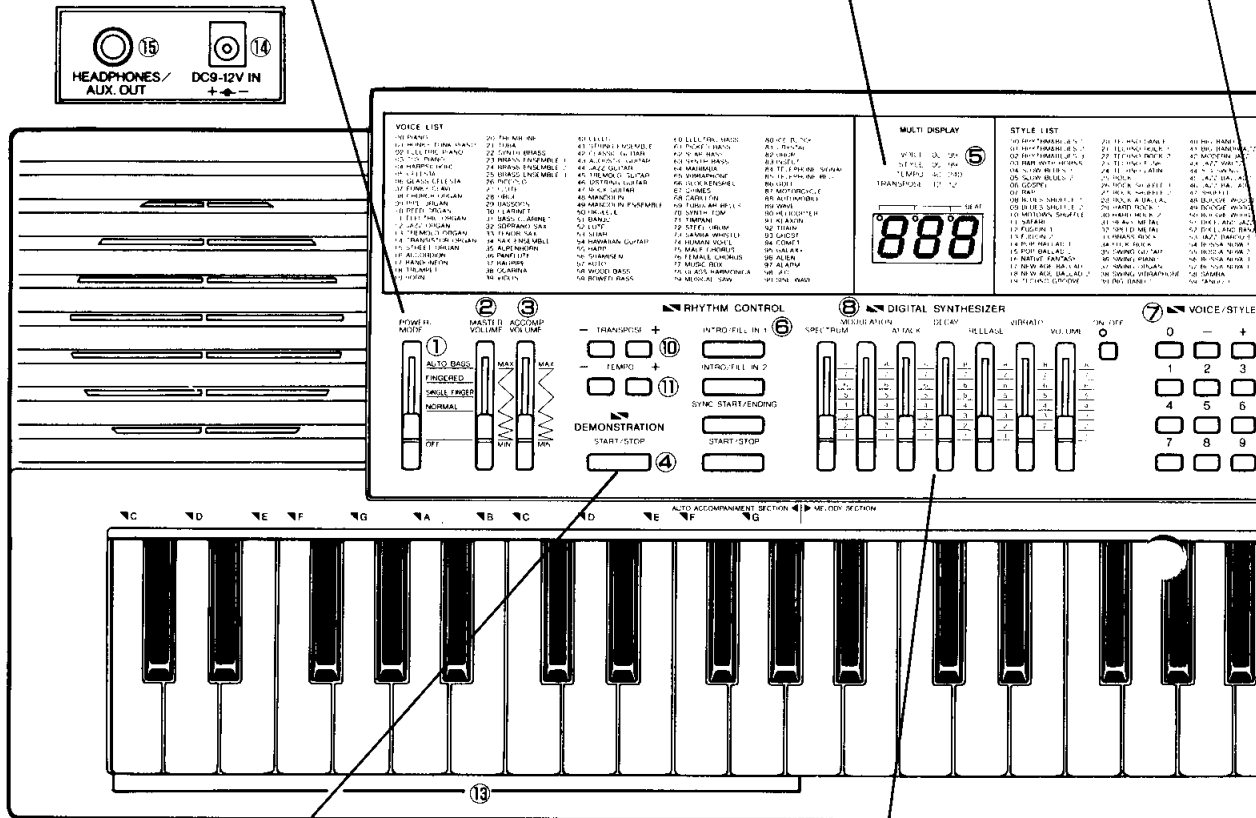
(詳しくは→7ページ)

ボイス(100音色)

- ①ボイス／スタイルセレクトのボイスボタンをON。
- ②マルチディスプレイ左側のボイスリストから、音色を選びます。
- ③音色のボイスNO.は、〈0〉～〈9〉のボタンで2桁の指定をします。はじめに10の位、つぎに1の位の順番で指定してください。(詳しくは→4ページ)

マルチディスプレイ

見やすいデジタル表示のLEDディスプレイを搭載。ボイス、スタイル、テンポ、トランスポーズの値、ビート表示を確認することができます。



デモンストレーション

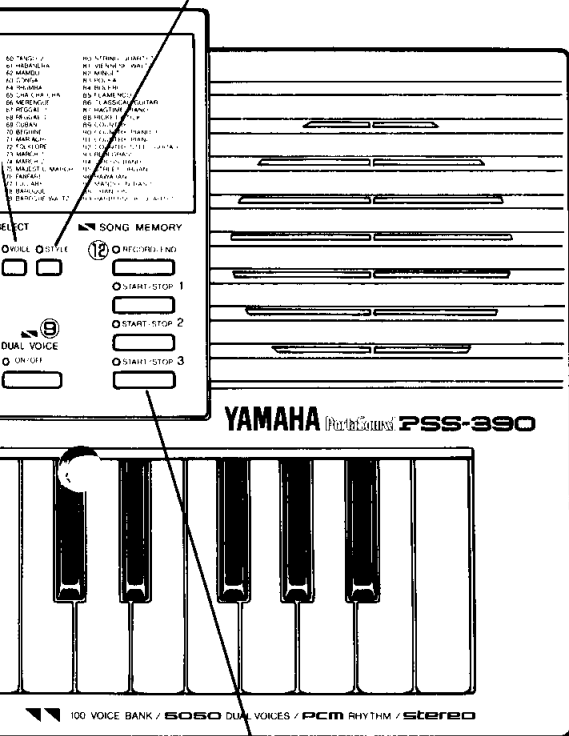
このボタンをONにすると、プリセットされている曲のデモンストレーション演奏がスタートします。止めたい時には、このボタンをもう一度押してください。

デジタルシンセサイザー

デジタルシンセサイザー機能を活用して、100種類のプリセットボイスから、あなたのイメージで音づくりをすることができます。音の波形や音量の変化の仕方を選択することによって、無限に近い音色バリエーションが楽しめます。(詳しくは→10ページ)

スタイル(100スタイル)

- ①ボイス／スタイルセレクトのスタイルボタンをON。
- ②スタイルリストから、スタイルを選びます。
- ③リズムのスタイルNoは[0]～[9]のボタンで2桁の指定をします。指定方法は、ボイスの時と同じです。
- ④リズムコントロールのスタート／ストップボタンをONにするとリズムが鳴りだします。もう一度押すとリズムは止まります。(詳しくは→ 6 ページ)



ソングメモリー

- ソングメモリー機能を活用すれば演奏を3曲分、録音・再生できます。
(詳しくは→ 12 ページ)

ボタン、レバーの名称と機能

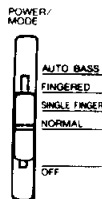
- ① **パワー／モード**
電源を入れ、モードを選ぶスイッチです。
- ② **マスターボリューム**
全体の音量を調節するレバーです。
- ③ **アカンパボリューム**
オートアカンパニメント(自動伴奏)の音量を調節するレバーです。
- ④ **デモンストレーション**
内蔵のデモ演奏を開始／停止させるときに押すボタンです。
- ⑤ **マルチディスプレイ**
ボイス、スタイル、テンポ、トランスポーズの値、およびビートをデジタル表示するディスプレイです。
- ⑥ **リズムコントロール**
リズムや自動伴奏をスタート、ストップさせたり、リズムや自動伴奏に変化をつけたりする時に用いるボタンです。
- ⑦ **ボイス／スタイルセレクト**
音色の種類、スタイルの種類を選ぶときに押すボタンです。
- ⑧ **デジタルシンセサイザー**
音色の各パラメーターを変更して、音作りをするときに調節するレバーです。
- ⑨ **デュアルボイス**
2つの音色を重ねて発音させ、音に厚みをつけたい時に押すボタンです。
- ⑩ **トランスポーズ**
移調して演奏したいときに押すボタンです。
- ⑪ **テンポ**
リズムのテンポを調節するときに押すボタンです。
- ⑫ **ソングメモリー**
演奏を録音、再生するボタンです。
- ⑬ **オートアカンパニメント用鍵盤**
自動伴奏をする時、左手でコードを押さえるのに使われる鍵盤セクションです。
ノーマルモードの時は、普通の鍵盤となります。
- ⑭ **DC 9-12 V IN 端子**
電源アダプターを接続する端子です。
- ⑮ **HEADPHONES / AUX.OUT 端子**
本体の音を出力する端子で、ヘッドホンやステレオアンプ、キーボードアンプと接続できます。

ボイス

選べるボイス(音色)は100種類。まず、いろいろな音色に切り替えて音を出してみましょう。

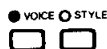
①パワー／モードレバーをノーマルに合わせます。

OFFの位置では電源が切れ、その他の位置(モード)では電源が入ります。



②ボイスボタンをON。

マルチディスプレイの3桁LEDに、現在のボイスNo.が表示されます。



③デュアルボイスをOFFにします。

パワー／モードレバーをONにすると一度に2音色が出るデュアルボイスも自動的にONになり、No.00のピアノの音が、2つ重なって出ます。

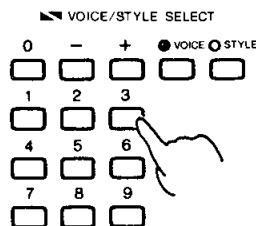
2音色ではなく1音色だけをセレクトして音を出したいときは、デュアルボイスをOFFにします。



④ボイスリストから音色を選びます。

選びたいボイスの番号を、ボイス／スタイルセレクトのテンキー0~9、+、-ボタンで指定します。

たとえばボイスNo.03のトイピアノの場合、<0>のボタンの次に<3>のボタンを押します。マルチディスプレイに指定したボイスナンバーが表示されます。



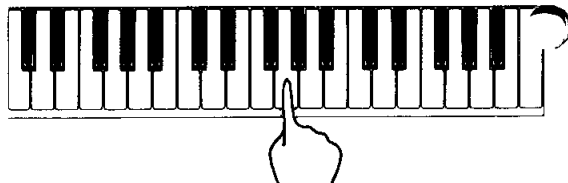
★[+]ボタンは一つ大きい番号の音色を、[-]ボタンは、一つ小さい番号の音色を呼び出します。

ボタンを押したままにすると、離すまで数字が自動的に変わっていきます。

⑤音色を切り替えて弾いてみましょう。

鍵盤を押さえると、④で選んだ音が鳴りだします。

他の音色に切り替えたい時は、④の操作を繰り返してください。



MEMO

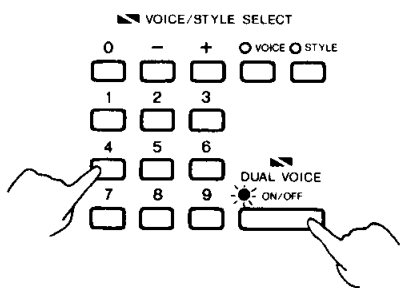
●ボイスは8音(音色によっては4音)まで同時に発音させることができます。ただし、発音数は自動伴奏の時にはその半分となります。さらに、デュアルボイスがONの時は、そのまた半分の発音数となります。

デュアルボイス

2つの音色を重ねて発音させ、音に厚みをつけたい時には、このボタンをONにします。

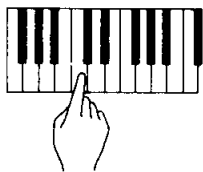
重ね合わされる2つの音色の内の片方は、今選ばれているボイスとなります。もう一方は次の方法で切り替えることができます。

- ①デュアルボイスのボタンを押したまま(ランプ点灯)重ねたい音色のボイス NO. をテンキーで指定します。
このボタンを押している間は、重ねる音色の方の番号がマルチディスプレイに表示されます。



- ②鍵盤を押すと2つの音色が一緒に出ます。

ボイスバンクの中から選んだ2つの音色が重なって出ます。



MEMO

- 電源ONの直後は、自動的にNo.00のピアノの音色が2つ重なったデュアルボイスになります。
- デュアルボイスをONにすると、発音数はデュアルボイスOFF時の半分になります。

トランスポーズ

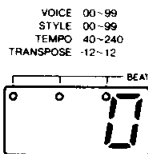
トランスポーズ機能を使うことにより、押した鍵盤と実際に発音される音の発音ピッチを変えることが出来ます。



こんな時に便利!

- 鍵盤の最低音より低い音や、最高音より高い音が必要な時。
- 他の楽器と合わせたり歌の伴奏をする時、弾き方を変えなくても移調できます。

- ①トランスポーズボタンを1回押す(+、-どちらでも良い) と、3桁LEDディスプレイに現在のトランスポーズのパラメーター値が表示されます。(最初は[0]に設定されています。) 少し時間がたつと、ボイス/スタイルの表示に戻ります。



- ②トランスポーズの値が表示されている間に、+、-ボタンを押して変更します。変更できる範囲は、[0]を基準として、[-12]~[12]です。(つまり、-1オクターブ~+1オクターブ。)たとえば、パラメーター値を[3]にして、ハ長調の曲を弾くと、3半音高い音が出て変ホ長調に移調されます。

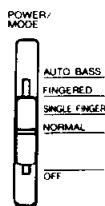


- ③+と-を同時に押すと、初期値の[0]に戻ります。また、+または-を押さえたままにしておくと、離すまでの間、数字が自動的にかわってゆきます。[12]および[-12]のときオートアカンパニメント音は、元の高さに戻ります。

スタイル

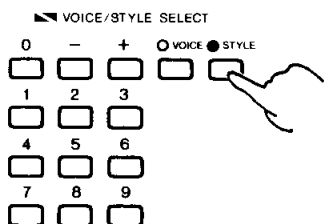
曲に合わせて選べるスタイルは100種類。まず、いろいろなスタイルのリズム演奏を聞いてみましょう。

①パワー/モードレバーをノーマルに合わせます。



②スタイルボタンをON。

ボイス/スタイルセレクトのスタイルボタンをONにします。



③スタイルを選びます。

ボイス/スタイルセレクトの[0]~[9]ボタンで指定します。たとえばNo.15のポップバラード2の場合、最初に10の位の[1]のボタンを押し、次に1の位の[5]のボタンを押します。

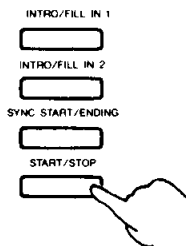
★[+]のボタンはひとつ大きい番号のスタイル、[-]のボタンはひとつ小さい番号のスタイルを呼び出します。

④リズムをスタート。

リズムコントロールのスタート/ストップボタンをON。

③で選んだスタイルでドラム音が鳴りだします。ビートに合わせて演奏してみましょう。

RHYTHM CONTROL



⑤他のスタイルに切り替えたい時。

③の操作を繰り返してください。次の小節の頭から新しいスタイルに切り替わります。

⑥リズムを止める時。

スタート/ストップボタンを再度押します。

テンポ

弾く曲に合わせてリズムのテンポを変えてみましょう。テンポはリズムがスタートしているときだけでなく、止まっているときにも変更することができます。

①テンポボタン(-・+のどちらか)を1回押します。

ディスプレイに表示される数字が、現在のテンポ(♩=□の値)です。しばらくするとボイス/スタイル表示に戻ります。



②もう一度、-・+ボタンを押してテンポを調節します。

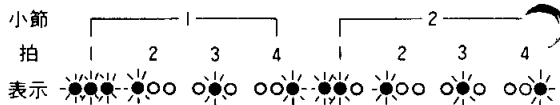
テンポが表示されている間に操作を行ってください。



★リズム点灯パターン例: 4拍子

ディスプレイ内の3つのドットはリズムに合わせて下図のように点灯します。

[4拍子]



[3拍子]

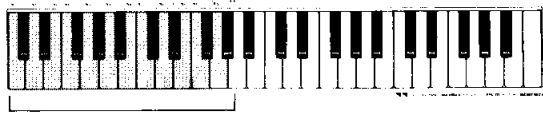


MEMO

- テンポの速さは、♩=40～240の範囲で調節できます。
- リズムを完全に止めてから、別のリズムに切り替えてスタートさせると、テンポはそれぞれのスタイルに最適な値が自動的にセットされます。
- [+]と[-]ボタンを同時に押すと、テンポの設定値は現在選んでいるリズムの最適値に戻ります。

オートアカンパニメント(自動伴奏機能)

パワー/モードレバーのシングルフィンガー、フィンガード、オートベースの3つが自動伴奏機能のモードです。自動伴奏のモードでは、オートアカンパニメント用鍵盤を用いて伴奏のコード進行を指示するだけで、ポータサウンドが自動的に伴奏してくれます。残りの鍵盤を使ってメロディを演奏してください。



オートアカンパニメント用鍵盤

レバーがノーマルの位置になっていると自動伴奏は行われません。まず、モードを選んでから演奏をはじめましょう。

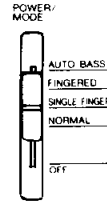
- コードを押さえることができなくても指一本でコードとベース伴奏ができる シングルフィンガー
- 普通にコードを押さえてコードとベースの自動伴奏ができる フィンガード
- ベース音のみが自動的に加わる オートベース

シングルフィンガー 指一本で自動伴奏

コードを全部押さえずに簡単に自動伴奏をさせることがで

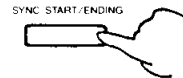
きる機能です。例えば、メジャーコードなら指一本、その他のコードでも2、3鍵押さえるだけでOKです。

①パワー/モードレバーをシングルフィンガーに合わせます。

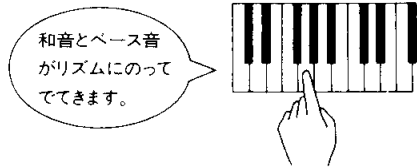


②スタイルを選びます。(6ページ参照)

③シンクロスタート/エンディングボタンをON。



④オートアカンパニメント用鍵盤のキーを押すと、自動伴奏が始まります。



⑤演奏を終了するときには、スタート/ストップボタンを押します。

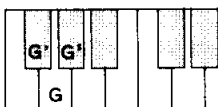
シングルフィンガーコードについて

上の図は、オートアカンパニメント用鍵盤を押す位置と、でてくる和音の関係を示したものです。



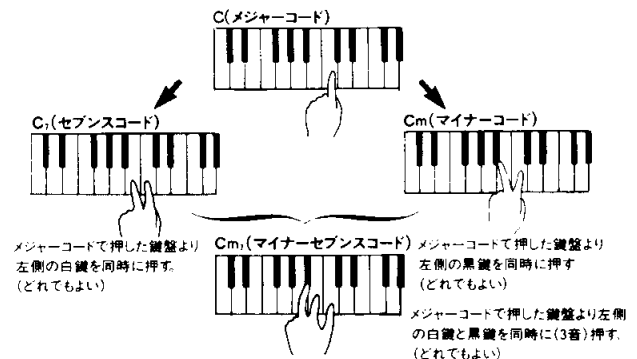
#、bのついているコードのだし方

#がついていたら、上の図で説明した位置の右上の黒鍵、bがついていたら左上の黒鍵を押せば、#・bのついたコードがでせます。



セブンスコード、マイナーコードのだし方

アルファベット1文字のコード(C、Dなど)をメジャーコードといますが、伴奏はメジャーコードだけとは限りません。例えば(G7)のようなセブンスコード、(Am)のようなマイナーコードもよく使われます。これらも、下図のように、2つの鍵盤を同時に押すことで出すことができます。

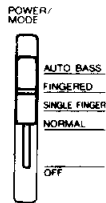


フィンガード

コードをおさえて自動伴奏

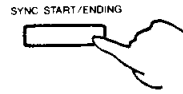
普通にコードを押さえて自動伴奏をさせる機能です。コード演奏になれている人や、シングルフィンガーだけでは演奏できない曲に向いています。

①パワー/モードレバーをフィンガードに合わせます。



②スタイルを選びます。

③シンクロスタート/エンディングボタンをON。



④オートアカンパニメント用鍵盤でコードを弾くと、自動伴奏が始まります。

和音とベース音がリズムにのってでできます。



⑤演奏を終了するとき、スタート/ストップボタンを押します。

フィンガードコードについて

(例) Cコードの場合

() 内の音を弾かずに省略しても検出されます。

メジャーコード C	マイナーコード C _m	セブンスコード C ₇	マイナーセブンスコード C _{m7}
メジャーセブンスコード C _{M7}	マイナーセブンスフラットコード C _{m7} ^{b9}	セブンスサスフォーコード C ₇ sus ₄	オーギュメントコード C _{aug}
デミニッシュコード C _{dim}	マイナーメジャーセブンスコード C _{mM7}	シックスコード C ₆	マイナーシックスコード C _{m6}
セブンスフラットコード C ₇ ^{b9}	CオンD	CオンB _b	CオンE
★	★	★	★

フィンガードモード時に検出可能な自動伴奏機能のコードの種類は、Cコードを例にとって示すと左図の通りです。オートアカンパニメント鍵盤内であれば、各音程のオクターブ上下は問いません。

■左図の★印以外のコードは、どのような転回形で弾いても構成音が同じであればコードの根音が決定されます。しかし★印のついたコードの場合は転回形によってコードの根音が変わります。下の注意をお読みください。

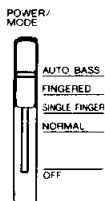
- dim と aug は、押鍵の最低音を根音として検出します。
- 6 と m 7 はコードを構成する音程が共通のため、押鍵の最低音が 6 th の根音になっている場合は、これを 6 コードとみなし、その他の押鍵はすべて m 7 として検出します。
- m 7-5 と m 6 はコードを構成する音程が共通のため、押鍵の最低音が m 6 の根音になっている場合は、これを m 6 コードとみなし、その他の押鍵はすべて m 7-5 として検出します。
- 7-5 は押鍵の最低音を根音または、短 7 度の音として検出します。
- 7 と C/B_b は、コード音を構成する音程が共通のため、押鍵の最低音が ♭7 のときのみ C / B_b とし、それ以外を 7 として検出します。
- C/E は 4 音以上の押鍵数のときに検出し、それ以外は、メジャーコードとして検出されます。

●コードとして検出できない押鍵では自動伴奏は変化しません。ただし、シンクロスタートを押した後、コードとして検出できない押鍵をすると、リズムだけスタートします。

オートベース ベース音の自動伴奏

ベース音だけ自動伴奏させて、コードを自由に弾くことができる機能です。

①パワー/モードレバーをオートベースに合わせます。

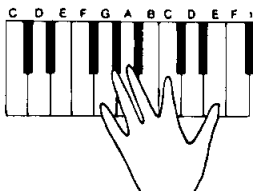


②スタイルを選びます。

③シンクロスタート/エンディングボタンをON。

④オートアカンパニメント用鍵盤でコードを弾くと、自動伴奏が始まります。

コードをおさえるとベースの自動伴奏もリズムにのってでてきます。



- ★コードの押え方はフィンガードと同じです。
- ★コード音は後から押さえた音が優先で、3音まで出ます。
- ★コードが押さえられるたびにベースのパターンはそのコードに合わせて変わります。コード以外の押え方(2音以下の押鍵のメロディーなど)ではベースパターンは変わりませんので、左手も自由に演奏できます。

演奏を終了するときには、スタート/ストップボタンを押します。

イントロ/フィルイン



【イントロ】

リズムが止まっている状態で、イントロ/フィルインボタン1, 2のどちらかを押し、1小節のドラムのイントロを頭にリズムがスタートします。

自動伴奏モードの時は、イントロ/フィルインのボタンを押した後、コードを押さえれば、1小節分のドラムのイントロの後、ベースとコードの伴奏が始まります。

【フィルイン】

リズムや自動伴奏をスタートさせた後で、イントロ/フィルイン1, 2のどちらかを押し、それぞれ異なった変則

的なリズムや伴奏のパターンが、その小節の終わりまで入ります。(リズムにオカズを入れる、という操作です。)

MEMO

- フィルインボタンを1小節以上押し続けると、その間フィルインのパターンが繰り返されます。

シンクロスタート/エンディング

【シンクロスタート】

鍵盤を弾くのと同時にリズムをスタートさせることができます。

①スタイルを選びます。

②シンクロスタンバイにします。

シンクロスタート/エンディングボタンをON。

ビートのドットが3つ同時に点滅して、シンクロスタンバイの状態になります。

点滅→
スタンバイOK



③リズムをスタート。

ノーマルモードの時は全鍵盤を、オートアカンパニメントの時はG#2から下の鍵盤を押鍵すると同時に、リズムがスタートします。



- ★シンクロスタンバイを解除したい時は、リズムスタートする前にもう一度シンクロスタート/エンディングボタンを押してください。

【エンディング】

演奏のしめくりにエンディングのフレーズを入れることができます。

①リズム、または自動伴奏の最中にシンクロスタート/エンディングボタンを押します。

②次の小節の頭からエンディングのフレーズが始まり、リズムが止まります。

- ★エンディング中に、フィルインボタンを押すと、リズムパートのみがフィルインと入れ替わり、次の小節から通常パターンに戻り、リズムはストップしません。

アカンパボリューム

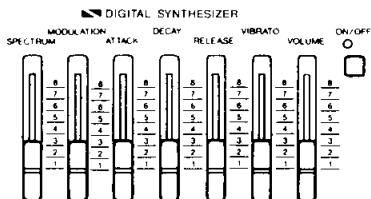
自動伴奏(リズムを含む)の音量を調節します。MAXからMINまで6段階のスイッチになっています。

デジタルシンセサイザー

デジタルシンセサイザーとは、音色を独創的に作り替えることのできる機能です。7つのパラメータを調節して自分のイメージ通りの音を作ってみましょう。

NO.41のストリングアンサンブルをクリスタルなキラキラサウンドに!

NO.41のストリングアンサンブルの音は、フワッとした柔らかな音色ですが、デジタルシンセサイザーを使ってまったくイメージの違うキラキラしたエレクトリックピアノ風の音色に変身させてみましょう。



- ①まず、ボイスNo.41のストリングアンサンブルを呼び出しておきます。
- ②デュアルボイスはOFFしておいてください。
- ③デジタルシンセサイザーのスイッチをONにして音色作りを始めます。

★デジタルシンセサイザーのレバーをすべて5に合わせておくと、各パラメーターによる音質の変化がわかりやすくなります。

1. スペクトラム 音色の基本を作ります。

スペクトラムでは、明るい音色、暗い音色といった音の質を調節します。

スペクトラムとは、その音色の倍音成分のことです。ここでは、どういう倍音を含ませるかを調整します。

レバー	音色の変化
	きらびやかな感じの明るい音 モコモコした感じの暗い音

スペクトラムのレバーを7に合わせます。

2. モジュレーション 音色を決定します。

モジュレーションでは、澄んだ音、濁った音といった音の質を調節します。

モジュレーションとは、1. のスペクトラムで決めた倍音成分の出る強さを調節するところです。

レバー	音色の変化
	濁った感じの音 澄んだ感じの音

モジュレーションのレバーを5に合わせます。

3. アタック 音の立ち上がりを決定します。

アタックとは、鍵盤を押した時の音の立ち上がりの早い、遅いを調節するところです。

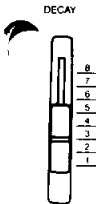
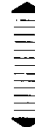
レバー	鍵盤を押した時の状態
	すぐに音が出る=アタックが早い (例: No.00 ピアノ、No.45 トレモロギターの音色) やや遅れて音が出る=アタックが遅い (例: No.41 ストリングアンサンブル、No.75 男性コーラス)

アタックのレバーを8に合わせます。

4. ディケイ

鍵盤を押している間の発音を決定します。

ディケイとは、鍵盤を押している間はずっと音が鳴っているか、反対に音が消えてゆくかを調節するところです。

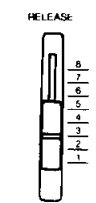
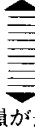
レバー	鍵盤を押している間の状態
	音が消えていく=減衰音(例: No.00 ピアノ、No.42 クラシックギター)  音が持続している=持続音(例: No.20 トロンボーン、No.40 チェロ)

ディケイのレバーを3に合わせます。

5. リリース

鍵盤を離れた時の音の状態を決定します。

リリースとは鍵盤を離れた時の音の余韻の消えるスピードを調節するところです。


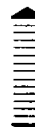
レバー	鍵盤を離れた時
	すぐ音が消える=余韻が短い(例: No.64 マリンバ、No.57 琴)  音が残る=余韻が長い(例: No.65 ビブラホーン、No.77 ミュージックボックス)

リリースのレバーを3にします。

6. ビブラート

音をふるわせる効果をもたせます。

ビブラートとは、音をふるわせる効果を調節するところです。レバーを上げるほどビブラートが強調されます。


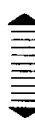
レバー	鍵盤を押している間の状態
	音が大きくふるえる  音がふるえない

ビブラートのレバーを5に合わせます。

7. ボリューム

トータルの音量を決定します。

ボリュームとは、デジタルシンセサイザーで作った音色自体の音量を決めるところです。

レバー	鍵盤を離れた時
	音量が大きくなる  音量が小さくなる

ボリュームのレバーを5に合わせます。

キラキラサウンドが出来上がりました。

■作った音色で「星に願いを」を弾いてみましょう■

星に願いを

MUSIC: Leigh Harline



© 1940 by BOURNE Co
日本音楽著作権協会(出)許諾第 号

このように、各パラメータを調節して、自由な音作りを楽しむことのできる機能が、デジタルシンセサイザーです。

さらに、他のボイスも使っていろいろなイメージの音作りに挑戦してみましょう。

MEMO

●デジタルシンセサイザーでつくった音を、100音色の内の1つと重ねて、デュアルボイスにすることもできます。操作は、デジタルシンセサイザーがONの時にデュアルボイスもONにするだけです。重ねる側の音色の設定は、5ページのデュアルボイスの説明をお読みください。

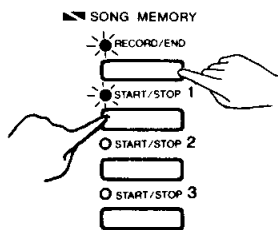
ソングメモリー

ソングメモリーを使って演奏をそっくり録音、再生できます。(メモリーは3曲分もあります。) また、再生音をバックに重ねて演奏することもできます。

録音／再生方法

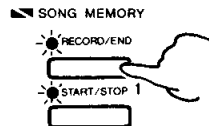
①レコード／エンドボタンを押しながら、スタート／ストップ1、2、3ボタンの一つを押します。

(ランプが点滅してカウントが鳴り、録音待機状態になります。)



★録音待機状態を解除したい時はレコード／エンドボタンを再び押してください。

カウントと一緒に点滅→録音待機中です。



②録音スタート

演奏開始と共に録音が始まります。

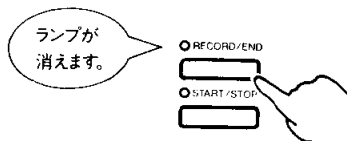
★リズム無しの演奏の場合は、押鍵と同時に録音が始まります。

★リズムをシンクロスタートさせると同時に、録音を開始したい場合は、録音待機状態で、シンクロスタート/エンディングボタンを押して、シンクロ待機状態にしてから押鍵スタートしてください。

★録音が始されると、以前そのボタンにメモリーされていたデータは全て消去されます。データをそのままにしたい時は、別のボタンで録音してください。

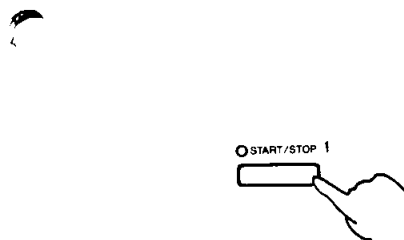
③録音を終了

☞コード/エンドボタンを押します。



④再生

録音済みのスタート/ストップ 1, 2, 3 のうちの 1 つを押すと、そのボタンにメモリーされた曲が再生されます。



★再生中も鍵盤は普通に演奏できます。ただし、パワー/モードスイッチがどの位置にセットされていても、ノーマルモードになります。伴奏だけを録音しておいて、再生しながらメロディを重ねるなど、楽しい使い方が色々あります。この場合の発音数は、ソングメモリーの再生音と押鍵音を合わせて最大8音となります。8音を超えて押鍵されると、後から押さえた音が優先して発音されます。

MEMO

●録音中にテンポを変更した時、録音終了時のテンポを記憶し、そのテンポで再生します。

●トランスポーズは録音されません。再生時にはトランスポーズをかけることができます。

●録音中は、スタイルを変更しても、そのスタイルの標準テンポにはなりません。

●デジタルシンセサイザーの設定はメモリーされません。デジタルシンセサイザー ON で録音した音も、再生時には、デジタルシンセサイザー OFF の音色になります。

●録音の容量を越えると、自動的に録音がストップされます。1 ボタンの容量は、最大約 500 音符です。

★メモリーされたデータは、電源を OFF にしても保存されます。ただし、AC アダプターを接続しない状態で電池を抜いて放置しておく(電池交換のように 5 分程度なら大丈夫ですが)全てのソングメモリーデータが消えてしまいます。

レッツプレイ

MODE=SINGLE FINGER
 VOICE=NO.00 (PIANO)
 STYLE=NO.15 (POP BALLAD 2)
 TEMPO.=120

リフレインが叫んでる

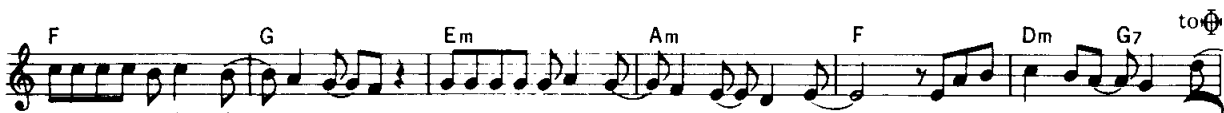
作詞 松任谷由実
 作曲



どうし てどうしてほ く - た ち - は
 てどうしてわ た - し た - ち
 てどうしてほ く - た ち - は



であってしま っ - た の - だ ろう - こわれ る ほど - だ き - しめた - さいご
 はなれてしま っ - た の - だ ろう - あん な に あい - し て - た の に - みさき
 であってしま っ - た の - だ ろう - こわれ る ほど - だ き - しめた - どうし



のはるにみた ゆ - う ひ - は うろこぐもて ら - し な - が ら - ボンネ ットに - き
 のあかりさえ は - じめ - る おなじばい に た - つ け - れ ど - しお か ぜ かた - を だ
 てどうしてわ た - し た - ち はなれてしま っ - た の - だ ろう - あん な に あい - し て



- て っ た - ひきか え - し て - み る わ -



C F Dm G7 C E7 Am F

ひ と つ ま え の - カ ー プ ま - で - い つ か う - み に - お



C F Em E7(sus4) E7

り た - あ の ち ゅ う し ゃ ゃ う に あ な た - が い た よ - う で - どう し



2 Am Dm G7 Em Am F

く だ け - ゆ う ば え - を あ き ら め て - は し る -



F E7(sus4) E7

じ こ - く - どう し D.S.

♩ Coda Am Em Am Em Am

- た の に -

故障と誤りやすい現象

現象	原因	解決方法
パワースイッチを ON にしたときや OFF にしたときに、ポツンと音が出る。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
マルチディスプレイが暗い。	①電池がなくなりかかっているため。 ②音量が大きいとき、一時的に電圧が下がるため。	①すべて新しい電池と交換してください。 ②ご心配いりません。
スピーカーから音が出ない。	ボリュームが下がっているため。	ボリュームを上げてください。
	HEADPHONES / AUX.OUT 端子にプラグを差し込んでいるため。	プラグを抜いてください。
複数の鍵盤を同時に押した時に、発音されない音がある。	最大同時発音数が自動伴奏音、メモリー再生音も含めて8音(2系列音の場合は4音)のため。	ご心配いりません。8音を超える押鍵があった場合、後着優先発音となります。
音色またはリズムが切り替わらない。	ボイスボタンまたはスタイルボタンを押していないため。	4 ページおよび 6 ページの説明をお読みください。
リズム音が出ない。	リズムコントロールのスタートボタンかイントロボタンが押されていないため。	6 ページの説明を読んで、操作もれがないかどうかを確認してください。
	シンクロスタートスイッチを押した後、自動伴奏用鍵盤を押していない。	
自動伴奏(オートアカンパニメント)が出ない。	①ノーマルモードになっているため。 ②自動伴奏用の鍵盤を押さえていない。 ③フィンガードコードのモードでシングルフィンガーのコードを押さえている。	①希望するモードに切り替えてください。 ②自動伴奏用の鍵盤を押さえてください。 ③シングルフィンガーとフィンガードでは押さえ方が違います。
オートアカンパニメントで伴奏しているとき、指を変えてもコードの音が変わらない。	オートアカンパニメント用鍵盤からいったん指を離さずに弾いているため。	コードを変える時は、一度鍵盤から指を離すようにしてください。
ソングメモリーの録音中、急にリズムが止まってしまった。	メモリーの容量を越えたため、録音がストップした。	1つのバンクに入るメモリーの容量は、最大約500音符です。
デジタルシンセサイザー部の各パラメータを変更しても、音色が変化しない。	デジタルシンセサイザースイッチがOFFになっている。	ONにする。
各ボイスの音色が、プリセット音色と違う。	デジタルシンセサイザースイッチがONになっている。	OFFにする。

仕様

●鍵盤数

ミニ鍵盤 49鍵 (C1 ~ C5)

●ボイス(100音色)

- 00 ピアノ
- 01 ホンキートンクピアノ*
- 02 エレクトリックピアノ
- 03 トイピアノ
- 04 ハープシコード
- 05 チェレスタ
- 06 グラスチェレスタ
- 07 ファンキークラビ
- 08 チャーチオルガン
- 09 バイオルガン*
- 10 リードオルガン
- 11 エレクトリックオルガン
- 12 ジャスオルガン
- 13 レモロオルガン
- 14 シンジスターオルガン
- 15 ストリートオルガン
- 16 アコーデオ
- 17 バンドネオン
- 18 トランペット
- 19 ホルン
- 20 トロンボーン
- 21 チューバ
- 22 シンセブラス
- 23 プラスアンサンブル 1 *
- 24 プラスアンサンブル 2 *
- 25 プラスアンサンブル 3 *
- 26 ビッコロ
- 27 フルード
- 28 オーボエ
- 29 バスーン
- 30 クラリネット
- 31 バスクラリネット
- 32 ソプラノサクソ
- 33 テナーサクソ
- 34 サックスアンサンブル*
- 35 アルペンホルン
- 36 バンフルード
- 37 バグパイプ
- 38 オカリナ
- 39 バイオリン
- 40 ヴェロ
- 41 ストリングアンサンブル*
- 42 クラシックギター
- 43 アコースティックギター
- 44 ジャズギター
- 45 トレモロギター
- 46 12弦ギター*
- 47 ロックギター
- 48 マンドリン
- 49 マンドリンアンサンブル*
- 50 ウクレレ
- 51 バンジョー
- 52 リュート
- 53 シタール
- 54 ハワイアンギター
- 55 ハーブ
- 56 三味線
- 57 琴
- 58 ウッドベース
- 59 ボウドベース
- 60 エレクトリックベース
- 61 ピックドベース
- 62 スラップベース
- 63 シンセベース
- 64 マリンバ
- 65 ビブラホーン

- 66 グロッケンシュピール
- 67 チャイム
- 68 カリオン
- 69 チューブラベル
- 70 シンセタム
- 71 ティンパニー
- 72 スティールドラム
- 73 サンバホイッスル
- 74 ヒューマンボイス
- 75 男性コーラス*
- 76 女性コーラス*
- 77 ミュージックボックス
- 78 グラスハーモニカ
- 79 ミュージカルソー
- 80 アイスブロック
- 81 クリスタル*
- 82 ドロップ
- 83 インセクト
- 84 テレホンシグナル
- 85 テレホンベル*
- 86 ゴルフ*
- 87 モーターサイクル*
- 88 オートモービル
- 89 ウェーブ*
- 90 ヘリコプター
- 91 クラクション
- 92 トレイン
- 93 ゴースト
- 94 コメット*
- 95 ギャラクシー
- 96 エイリアン
- 97 アラーム
- 98 ユーフォー*
- 99 サインウェーブ

●スタイル(100スタイル)

- 00 リズム & ブルース 1
- 01 リズム & ブルース 2
- 02 リズム & ブルース 3
- 03 リズム & ブルースウイズホーンズ
- 04 スローブルース 1
- 05 スローブルース 2
- 06 ゴスペル
- 07 ラップ
- 08 ブルースシャッフル 1
- 09 ブルースシャッフル 2
- 10 モータウンシャッフル
- 11 サファリ
- 12 フェュージョン 1
- 13 フェュージョン 2
- 14 ポップバラード 1
- 15 ポップバラード 2
- 16 ネイティブファンタジー
- 17 ニューエイジバラード 1
- 18 ニューエイジバラード 2
- 19 テクノグループ
- 20 テクノダンス
- 21 テクノロック 1
- 22 テクノロック 2
- 23 テクノファンク
- 24 テクノラテン
- 25 ロック
- 26 ロックシャッフル 1
- 27 ロックシャッフル 2
- 28 ロックバラード
- 29 ハードロック 1
- 30 ハードロック 2

- 31 ヘビーメタル
- 32 スピードメタル
- 33 プラスロック
- 34 フォークロック
- 35 スイングギター
- 36 スイングピアノ
- 37 スイングオルガン
- 38 スイングビブラフォーン
- 39 ビッグバンド 1
- 40 ビッグバンド 2
- 41 ビッグバンド(ワルツ)
- 42 モダンジャズ
- 43 ジャズワルツ
- 44 5/4 スイング
- 45 ジャズバラード 1
- 46 ジャズバラード 2
- 47 シャッフル
- 48 ブギウギ 1
- 49 ブギウギ 2
- 50 ブギウギ 3
- 51 ディキシーランドジャズ
- 52 ディキシーランドバンジョー
- 53 ジャズバロック
- 54 ボサノバ 1
- 55 ボサノバ 2
- 56 ボサノバ 3
- 57 ボサノバ 4
- 58 サンバ
- 59 タンゴ 1
- 60 タンゴ 2
- 61 ハバネラ
- 62 マンボ
- 63 コンガ
- 64 ルンバ
- 65 チャチャチャ
- 66 メレンゲ
- 67 レゲエ 1
- 68 レゲエ 2
- 69 キューバン
- 70 ビギン
- 71 マリアッチ
- 72 フォルクローレ
- 73 マーチ 1
- 74 マーチ 2
- 75 マジェスティックマーチ
- 76 ファンファーレ
- 77 ララバイ
- 78 バロック
- 79 バロック(ワルツ)
- 80 ストリングカルテット
- 81 ウィンナワルツ
- 82 メヌエット
- 83 ポルカ
- 84 ポレロ
- 85 フラメンコ
- 86 クラシカルギター
- 87 ラグタイムピアノ
- 88 リケティチック
- 89 カントリー
- 90 カントリーピアノ 1
- 91 カントリーピアノ 2
- 92 カントリースティールギター
- 93 ブルーグラス
- 94 サークスバンド
- 95 ストリートオルガン
- 96 ハワイアン
- 97 マンドリンバンド
- 98 シャンソン
- 99 バーバーショップカルテット

●パワー/モード

オフ、ノーマル、シングルフィンガー、フィンガード、オートベース

●ボリューム

マスターボリューム、ア坎ブボリューム

●リズムコントロール

イントロ/フィルイン 1、2、シンク
ロスタート/エンディング、スタート/ストップ

●ボイス/スタイルセレクト

0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、ボイス、スタイル、+、+

●デュアルボイス

オン/オフ

●デジタルシンセサイザー

オン/オフ、スペクトラム、モジュレーション、アタック、ディケイム、リリース、ビブラート、ポリリウム

●トランスポーズ

+、+

●テンポ

+、+

●デモンストレーション

スタート/ストップ

●ソングメモリー

レコード/エンド、スタート/ストップ 1、2、3

●外部端子

HEADPHONES/AUX. OUT
DC9~12V IN

●音源

〈ボイス〉FM 音源 〈リズム〉PCM 音源

●アンプ

ステレオ、2W×2

●スピーカー

10cm (4Ω)×2

●定格電源

DC9 ~ 12V (単 2 乾電池 6 本)、
AC アダプター: PA-3

●電池寿命

(デモ演奏時、4 時間)

●消費電力

PA-3 使用時: 9W
乾電池使用時: 5W

●寸法(幅×奥行き×高さ)

(全長)637.5×(全幅)252×(全高)
84.7mm

●重量

2.3kg (乾電池なし)

●外装材質

スチロール樹脂

●付属品

単 2 乾電池 6 本

*印は 2 系列音色 (同時発音は 4 音です)

アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

- 本機の保証は、保証書によりご購入から満1年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。
(日本国内のみ有効)
- 保証期間の1年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店が下記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“故障と誤りやすい現象”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと、故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めで仕間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならぬようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL. 011-513-5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸産共同配送センター3F TEL. 022-236-0249
新潟サービスセンター	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル2F TEL. 025-243-4321
松本サービスステーション	〒390 松本市大手2-5-2 中村屋ビル3F TEL. 0263-32-5930
東京サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル TEL. 03-255-2241
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL. 044-434-3100
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ機宮竹工場内 TEL. 0534-65-1158
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ機名古屋流通センター3F TEL. 052-652-2230
京都サービスセンター	〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483 第2マスイビル3F TEL. 075-361-6470
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新荻屋下1-16 ヤマハ機千里丘センター内 TEL. 06-877-5262
神戸サービスセンター	〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ機神戸店内 TEL. 078-321-1195
四国サービスセンター	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ機高松店内 TEL. 0878-22-3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39 TEL. 082-874-3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2134
(本 社)	
電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL. 0534-65-1158

YAMAHA
YAMAHA CORPORATION
ヤマハ株式会社

北海道支店 LM営業課	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター TEL. 011-512-6113
仙台支店 LM営業課	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル TEL. 022-222-6140
東京支店 特販営業課	〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル TEL. 03-572-3130
名古屋支店 LM営業課	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL. 052-201-5150
大阪支店 特販営業課	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋フラザビル東館 TEL. 06-252-7491
広島支店 LM営業課	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL. 082-244-3749
九州支店 LM営業課	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2130
本社 電子楽器営業部	〒430 浜松市中区沢町10-1
ポータブル楽器営業課	TEL. 0534-60-3271

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA feelin' club



T4960693043349